

研究に関するご協力のお願い

福島県立医科大学放射線医学講座では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の多機関共同研究を実施します。本学における MRI 画像データの利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2026 年 6 月

福島県立医科大学医学部放射線医学講座 伊藤 浩

■ 研究課題名

女性骨盤 T2 強調 MRI における子宮の動きの機序に応じた撮像シーケンス選択指標の開発

■ 研究期間

2026 年 7 月 ～ 2031 年 7 月

■ 研究の目的・意義

婦人科領域における疾患（子宮内膜がん、子宮頸がん、卵巣がん、子宮筋腫、子宮腺筋症等）の発見や進行期の推定、治療の方針の決定に婦人科領域の MRI 検査は有用とされています。しかし、子宮の周囲には、膀胱や腸管などの他の臓器が隣接しているため、これらの臓器の動きと一緒に動いています。撮影中に撮影対象が動くと、一般的なカメラで撮影される写真にボケが生じてしまうのと同様に、MRI も撮像中の被写体の動きによって MRI の画質が低下してしまいます。この画質の低下によって、医師による画像診断が難しくなる場合があります。MRI には撮影方法が幾つかありますが、これらの撮影方法が子宮のどのような動きに対して有効であるか明らかではありません。子宮の動き方とその動きに対応できる撮影方法が明らかになれば、事前に適切な撮影方法を選択することが可能となるため、画質低下を回避することができると考えられます。したがって、子宮の動きの機序を明らかにすること、また、その機序に対応できる撮影方法を明らかにし、子宮の動きの機序に応じた撮像シーケンス選択指標を開発することが本研究の目的です。

■ 研究対象となる方

2022 年 8 月から 2026 年 4 月に福島県立医科大学附属病院の MRI 装置で婦人科 MRI 検査を受けた 18 歳以上の成人女性の患者さんが対象です。

■ 研究の方法

後ろ向きの研究になるため、新たなデータ取得はありません。既に撮像された MRI 画像の解析を行います。MRI 画像の画質について、医師による視覚的評価と放射線技師による定量的な評価を行います。子宮の動きに関する解析について、画像解析ソフトを使用し、定量評価をします。子宮の動きの機序とその機序に対応できる撮像方法について検討します。

■ 試料・情報の利用を開始する予定日

2026 年 7 月 1 日

■ 研究組織

この研究は福島県立医科大学放射線医学講座を中心とした多機関共同研究です。全ての共同研究機関とその研究責任者の氏名は次のとおりです。

集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長 鈴木弘行であり、それらの情報は共同研究機関で共同利用し解析を行います。

【研究組織】

研究代表者	福島県立医科大学医学部放射線医学講座 教授 伊藤浩
共同研究機関 研究責任者	茨城県立医療大学 保健医療学部放射線技術科学科 教授 門間正彦

■ 他の機関などへの試料・情報の提供について

他機関への試料・情報提供はありません。

■ この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取消すことは困難な場合もあります。

問い合わせ先

2026 年 4 月 25 日作成 (第 1.0 版)

〒960-1295 福島県福島市光が丘 1 番地

公立大学法人福島県立医科大学 放射線医学講座 担当：石川 寛延

電話番号：024-547-1334

e-mail：ishihiro@fmu.ac.jp